

政策調整会議の概要

開催日：H19.4.12

項目

- 1 雇用対策について【商工労働部】
- 2 高規格道路の供用予定について【土木部】
- 3 平成18年県外観光客の実績について【観光部】

内容

1 雇用対策について【商工労働部】

商工労働部より、雇用関係における本県を取り巻く厳しい状況及び県内の厳しい雇用情勢の改善に向け本年度に新たに設置された雇用対策チームについて概要説明があった後、意見交換を行った。

〔説明概要〕

- ・ 県内で発注される公共工事の平成18年度請負金額がピーク時の3割を切る。平成19年2月の有効求人倍率が0.51と低迷している。平成18年度倒産負債額が史上2番目となるなど雇用関係における本県を取り巻く状況は非常に厳しい。
- ・ 県内の厳しい雇用状況の改善に向けて、部局横断的な対応を実施するために本年度より6名の専任職員から構成される雇用対策チームを設置した。テーマ別に林業担い手確保グループ、建設業の新分野進出グループ、地域資源活用型新産業育成グループの3グループを編成し活動して行く。これに併せて、高知県雇用対策本部設置要綱を新設している。
- ・ 知事からのミッションでもある「雇用の場の確保、新しい雇用の場づくりを各部の課題として捉える。」こと、雇用につながりそうな情報の共有、テーマ別グループへの協力をお願いしたい。

〔主な意見〕

- ・ 地域資源活用型新産業育成グループにおける西南での地域資源とは何か？
東洋城酒造の芋焼酎、マンボウの健康食品、椿の化粧品、きびなごの新製品、廃棄物である宗田節煮汁からのペットフードがある。今後、県下の色々なところで地域資源を広げていきたい。
- ・ これからのシルバー産業に関連して、団塊の世代への対応、高齢者のノウハウを新しい産業に転換できないか、それが雇用につながるように発信できないかについて、今後一緒に考えていきたい。障害者自立支援法に関連して、本年度から障害福祉課に就労支援チームを設置しているので、雇用の関係では一体的に考えてもらいたい。
障害福祉課の就労支援チームとは調整をしている。
- ・ テーマ別グループ員の兼務発令については、2つの所属にまたがっているため所属長は気にかけてもらいたい。雇用対策チームの仕事が、周囲に見えるようにすることが大事である。雇用に関係するものについては、一見無関係の思いもかけない部署から出てくる場合があるので注意が必要である。（副知事）
- ・ 高知県雇用対策本部設置要綱で幹事に警務課長を入れてもらいたい。
入れる方向で調整する。詳細は別途相談させてもらう。
- ・ 商工会議所等民間との連携はどのようになっているのか？
個別の対応もあるが、基本的に商工労働部を通じて対応したい。今後、中山間をどのようにしていくかが課題である。
- ・ 就職担当の先生等からの情報をもらえば良いのではないかと（副知事）
協議をする予定となっている。
- ・ 雇用のミスマッチの具体的な内容は何か？

いくつかの要因があるが、一番大きいのは希望の仕事（職種）に求人が少なく見つからないこと。その他にも賃金が安いことや求人パートが多く継続して勤務することができないことがあるようである。

- ・ 雇用関係の活動を説明会やマスコミを通じて積極的に県民に示していく、そして、県民の方からの情報も提供していただくことが必要ではないか。
- 情報発信を意識してやっていきたい。
- ・ このテーマは重要であるため、政策調整会議の通年テーマとして議論していきたい。

2 高規格道路の供用予定について【土木部】

土木部より、高規格道路等の供用予定図（平成19年4月1日現在）を配布し、高知南国道路、南国安芸道路、安芸道路、大山道路、北川奈半利道路、東洋北川道路、須崎道路、須崎新庄IC～窪川ICの新直轄区間、窪川佐賀道路、中村宿毛道路の順に、進捗状況及び今後の供用予定の概要説明があった後、意見交換を行った。

〔説明概要〕

- ・ 高規格道路の進捗状況は、四国全体で約59%、香川県が100%、愛媛県が約73%、徳島県が約53%、高知県が約34%という状況である。
- ・ 平成18年12月に閣議決定した「道路特定財源の見直しに関する具体策」により、本年度中に今後の具体的な道路整備を示した中期的な計画を策定することとなっている。
- ・ この中期的な計画は、国民・有識者・市町村・知事の意見を聞いたうえで、6月までに課題を整理し、8月末には素案を作成し、年内に完成を目指している。現在5月8日を期限として知事の意見を求められている。

〔主な意見〕

- ・ 生活重視や地域間格差の視点から、財政基盤の弱い県からの要望を聞いてもらえるような感触はあるか？現時点では感触や情報はない。知事の意見を求められている現時点がそのような地方の意見を要望する段階である。
- ・ 道路については、国はもう作る道路はない、不要な道路を作っているのではないかという理屈なので、不要な道路ではないという理屈が必要となる。産業振興への貢献、または、新たな防災の観点などの切り口で必要性のストーリーが重要となる。知恵の絞りどころである。（副知事）

3 平成18年県外観光客の実績について【観光部】

観光部より、平成18年度の県外観光客入込み数及び県内経済波及効果の推計について概要説明があった。

〔説明概要〕

- ・ 平成18年度の県外観光客入込み数は対前年度比4.9%の高い伸びを示している。
- ・ NHK大河ドラマ「功名が辻」の放送や、「土佐二十四万石博」の効果が反映されたものと考えられる。
- ・ 今後はこれを「花・人・土佐であい博」につなげていきたい。
- ・ しかしながら、日帰り客の増加等により、県外観光客の総消費額は平成17年度に比べて下がっている点には注意が必要である。